

## 【YAWATA 150】

-ふるさとは八幡小学校です-

令和5年2月6日(月)

今年度、八幡小は150周年を迎えます。そこで、150周年にちなむ八幡学区の歴史につながるお話をいろいろとしています。今回のお話は……

## 児童数のうつりかわり

八幡小学校って、どのくらい大きな学校なのでしょう？今日は、学校の大さを表す一つの目安、「児童数」を調べてみました。

## ① 39人または67人(明治7年…1874年)

八幡小の前身である「仮義校」は、明治6年2月に設立され、10月には「第二中学区第三十二番小学生立学校」となりました。

当時の記録を見ると、明治7年の児童数は「39人」と記されています。(男子35人/女子4人)ただし、当時は「夜学」……夜間学校があり、そちらには28人(男子28人)が通学していたそうです。

つまり、開校翌年の明治7年の児童数は、合計して67人(男子63人/女子4人)が通学してことが分かりました。

※ 当時は義務教育ではなかったため、希望者が通学していました。

## ② 666人(明治42年…1909年)

そこから児童数はどんどんと増え、明治42年には666人の児童が通学していました。(現在と同じくらいの児童数)それから児童数はどんどん増えていきます。

## ③ 1000人超え(大正3年…1914年)/2000人超え(昭和10年…1935年)

大正3年には1000人を超えました。その後、大正14年～昭和13年(約15年間くらい)にかけて、学区の一部が、八幡小・野立小・昭和橋小に分離し、学区が少しずつせまくなったにもかかわらず、昭和10年には2000人を超えました。

## ④ 2680人(昭和34年…1959年)

その後も増えたり減ったりを繰り返しながら戦争前後をすぎ、戦後、再び児童数が増加傾向になります。昭和34年には、なんと2680人も児童が八幡小学校に通学していたそうです。(八幡小の児童数の最高記録)

## ⑤ 649人(現在)

その後、児童数はゆるやかな減少傾向となり、昭和41年に2000人以下となり、平成2年以降は1000人以下になりました。平成21年からこの15年ほどは600人～700人ほどを行ったり来たりしています。

※ 児童数の増加は、そのまま町の人口の増加を意味します。明治末～大正・昭和初期にかけて、八幡の町に人が集まり、とても発展したことが、児童数の増加からも推測できるのです。

※ <sup>やぐましよう</sup>八熊小・<sup>のだてしよう</sup>野立小・<sup>しょうわほしよう</sup>昭和橋小が<sup>ぶんり</sup>分離していなかったら、どのくらいの  
<sup>じどうすう</sup>児童数になっていたのでしょうか。予想もつきませんね。